

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R 4 - 8 号)

令和4年8月5日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和4年8月1、2日に伊勢湾、4、5日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

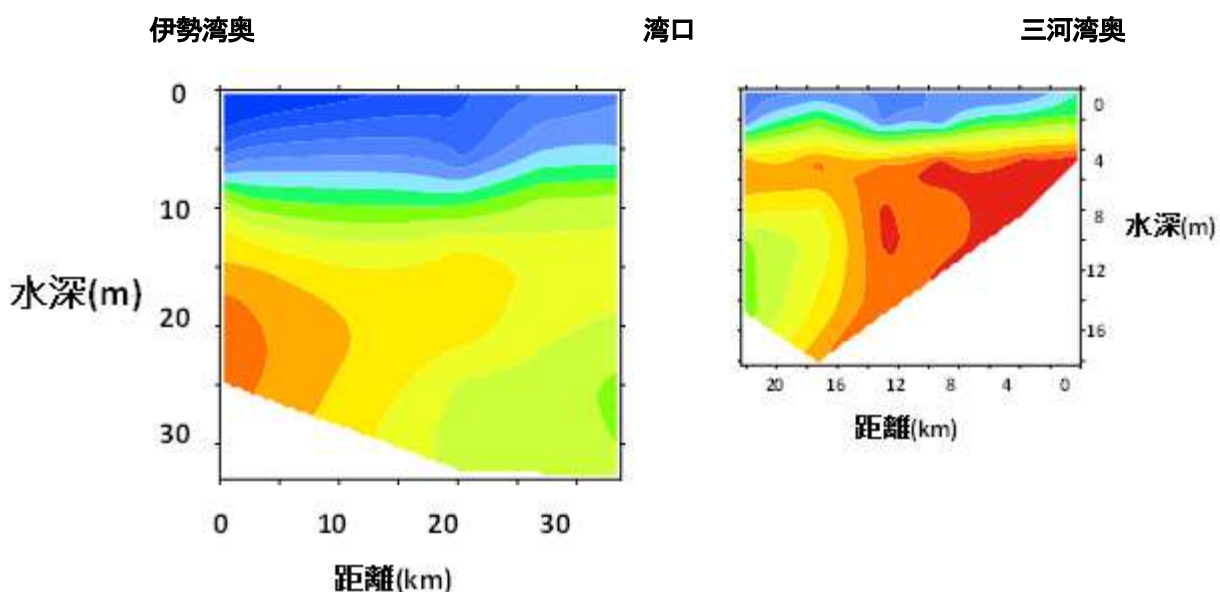
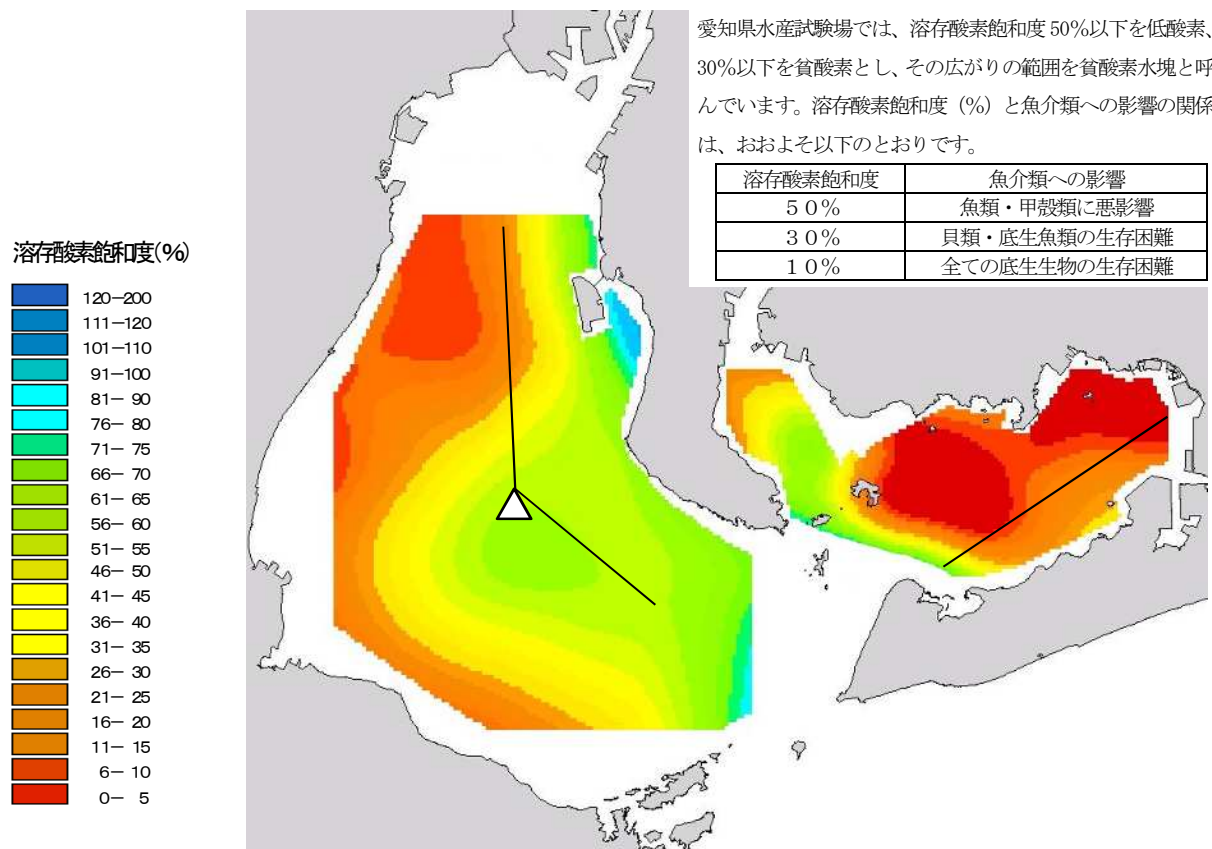


図1 伊勢湾 (8月1、2日) 三河湾 (8月4、5日) 底層の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (愛知県「海幸丸」「へいわ」調査)

伊勢湾

8月1、2日の調査結果を図1に示しました。伊勢湾では湾奥から湾央の三重県側を中心に貧酸素水塊が確認されました。貧酸素水塊の分布は前回調査時（7月13日；図2）から大きく変化はありませんでした。表底層の密度差が大きくなっているため、貧酸素水塊は拡大すると思われます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	27.4~30.2	24.9~29.2
底層	18.2~21.4	32.6~34.2

三河湾

8月4、5日の調査結果を図1に示しました。渥美湾はほぼ全域で、知多湾では北西部で貧酸素水塊が確認されました。前回調査時（7月25日；図2）と比べると、渥美湾、知多湾ともに貧酸素水塊が拡大していました。

鉛直分布図を見ると、渥美湾の湾奥部から湾央部の底層で貧酸素水塊が発達していました。一方で、湾口部では貧酸素水塊が中層に見られ、底層では溶存酸素飽和度40~60%台となっていました。外海水が湾口部に侵入し、貧酸素水塊が持ち上がっていると考えられます。

表底層の密度差が大きくなっているため、貧酸素水塊は拡大すると思われます。また、渥美湾では貧酸素水塊が発達していることから、強風に伴う苦潮の発生に注意が必要です。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	25.0~29.9	24.2~29.6
底層	20.3~28.1	28.6~33.3

参 考

前回調査時の両湾底層の溶存酸素状況

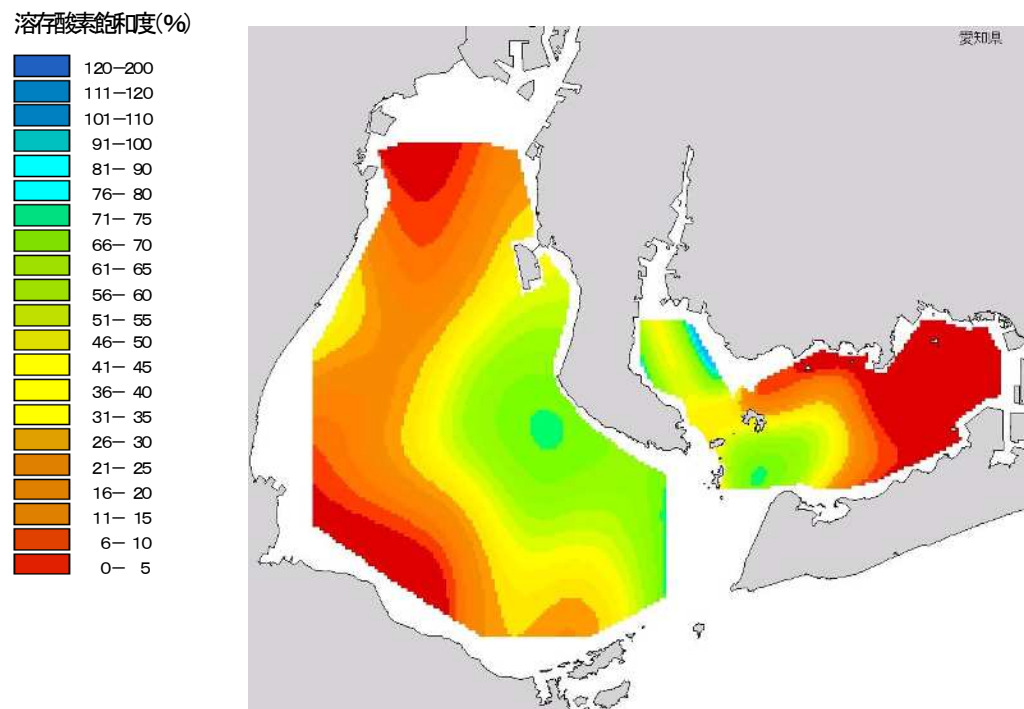


図2 令和4年7月13日（伊勢湾）、7月25日（三河湾）